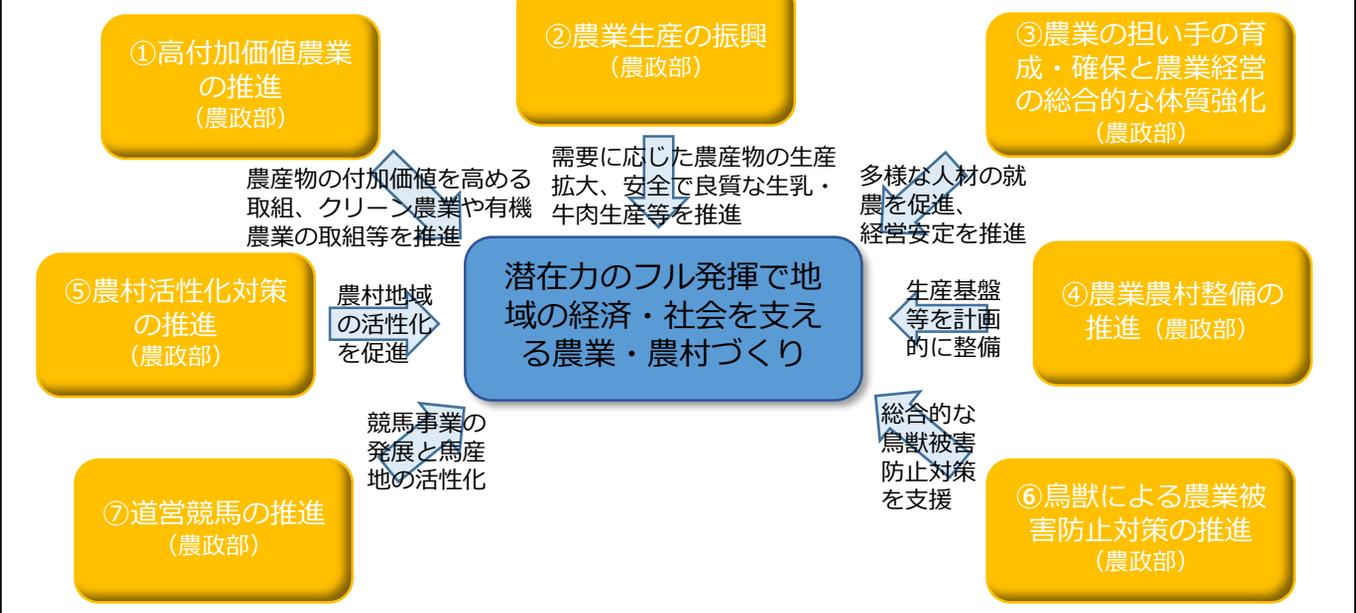


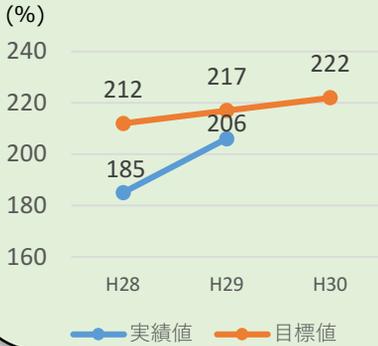
【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組	総合評価
①高付加価値農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農業の持続的発展や消費者の多様なニーズに応える農業の振興 6次産業化をはじめとする農産物の付加価値を高める取組への支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道6次産業化サポートセンターを運営 ○新商品の開発や加工・販売施設の整備 ○YES!clean表示制度の運用等への支援 ほか8つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②農業生産の振興	<ul style="list-style-type: none"> 経営を取り巻く環境は厳しく、生産基盤の維持・強化が急務 安定的な食料の生産・供給を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○需要に応じたこめ産地づくりを推進 ○スマート農業に関する情報の共有・発信、技術課題の検討・対応 ほか22の取組 	概ね順調に展開
③農業の担い手の育成・確保と農業経営の総合的な体質強化	<ul style="list-style-type: none"> 農家戸数の減少や農業従事者の高齢化が進展 意欲と能力がある担い手の育成・確保、農業経営の総合的な体質強化を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者の育成・確保 ○担い手の経営体質の強化 ○農業法人の育成 ほか3つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
④農業農村整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心で高品質な農産物の安定供給には、農業生産力向上による生産コストの低減が重要 農業生産基盤整備の計画的な推進が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○水田地帯の生産基盤の整備 ○畑地帯の生産基盤の整備 ○酪農地帯の生産基盤の整備 ほか2つの取組 	概ね順調に展開
⑤農村活性化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活力が低下しており、その対策が必要 本道農業・農村に対する道民理解の促進が一層重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○農業・農村の多面的機能を支えるための地域の共同活動に対し支援 ○都市住民への情報発信を実施 ほか4つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑥鳥獣による農業被害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣による被害は農林水産業被害、生活被害が甚大 農業被害は漸減傾向だが鳥獣被害防止対策の支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域協議会等が取り組む総合的な鳥獣被害防止対策を支援 ○事業の推進指導を実施 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑦道営競馬の推進	<ul style="list-style-type: none"> 競馬の基本となる競走馬の確保が大きな課題 安定的に継続した事業展開のため、発売拡大が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○本賞金・出走手当の引き上げ ○門別競馬場にキャッシュレス投票を導入 ほか5つの取組 	概ね順調に展開

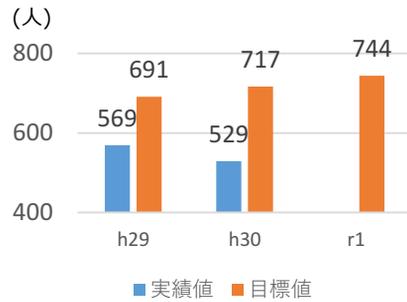
【総合計画の指標】

食料自給率（カロリーベース）（%）
（施策①②③④）



食料消費全体に占める米の割合の減少や、畜産物の国産品の増加以上に輸入品が増加したこと等の国内全体の事情から、目標値の9割程度に止まった

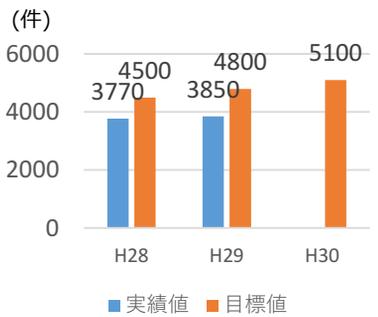
新規就農者数（人）（暦年）（施策③）



新参入者は毎年120名程度確保できているが、親元就農者の減少をカバーできるほどではなく、全体としては、目標の7割程度に止まった

【関連指標】

6次産業化に取り組む事業体数（件）（施策①）



高齢化等による農家戸数の減少に伴い取組事業体数は減少しているが、販売金額は増加傾向

農業産出額（億円）（暦年）（施策②）



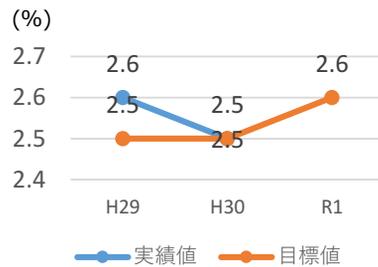
畑作物の作柄が良好であったことや、野菜、酪農及び肉用牛生産における生産物価格が好調なこと等から、基準年を上回る産出額となった

農業法人数（施策③）



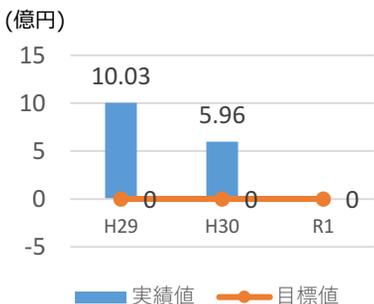
北海道農業法人化等支援協議会を設立し農業経営者サポート事業を推進しており、効果が一定程度発現

ふれあいファームに登録している農家の割合（%）（施策⑤）



販売農家戸数が減少する中、ふれあいファームの登録件数も減少したが、新規登録もあり登録割合は維持

競馬事業の収支（施策⑦）



ホッカイドウ競馬本体での発売増と他地方競馬及びJRA馬券の発売増による手数料収入の増により、H30年度における単年度収支が5億9千6百万円の黒字

担い手への農地の利用集積率（施策③）



市町村や農地中間管理機構等の実施主体の実績を表す指標であり、道は取り組みを促進する形で関与